会報

和 訶 羅 河

第303号　2026(r08).09.18

城陽の緑と文化財を守る会

念佛寺　弁財天のおまつり　8月22日

杉浦　喜代一

６月のニュース・和訶羅河（301号）でお知らせしておりました寺田の念佛寺境内の弁天さん、おまつりが８月２２日（土）に行われました。前日にお世話をされている垣内東組の組長さんにお聞きすると８時から掃除をされたり、提灯を吊ったり幟を立てるなどの準備をされ、１０時にお坊さんが来られておまつりが始まるとのこと。

１０時から読経

当日、私が９時半ごろに念佛寺に行くと組の方々が忙しく準備をされている最中でした。「弁財天女　春日大社」と書かれた鳥居をくぐった一番奥、弁天さんと春日さんが祀られているお堂にはお神酒を入れた白い瓶子、白い皿に盛られた米などが置かれ、一段下がったところには箱膳が据えられてお茶碗にご飯などの御膳、その横に桃とブドウが供えられ、竹の花瓶には白や黄色などの菊の花と蓮の花が生けられていました。暑さの為でしょうか蝋燭がぐにゃりと倒れています。金属製の燭台が太陽の直射光が強くて熱くなり、根元の蝋を溶かしてしまったようでした。すぐに日陰に移して新しい蝋燭と取り換えられました。お堂の両端には「弁財天」と墨書された赤い丸提灯がさげられ、道沿いには紅白の地に「弁財天女」と書かれた幟が掲げられ、まつりの雰囲気を盛り上げていました。



弁財天のまつり

昔のことを覚えている方は、子どもの頃は弁天さんの絵が描かれた行燈が道を横断していて、夜には灯が入ってきれいだった、とか夜店が出ていたなどと昔話をされていました。

しばらくすると付近の方々１０人ほどが参集され、念佛寺の山田住職が集まった皆さんに挨拶されて、弁財天・春日社の前で読経が始まりました。

念佛寺　弁財天のおまつり　８月２２日/　南城陽中学のブロンズ像「翔」も有田さんの作/寺田のお地蔵さんの生御膳/　第９７回文化財講演会（資料館友の会共催）「旧石器時代の暮らしとその時代背景」拝聴記/　城陽市に残る『竜山石の石棺石』/会のタイトル　/京田辺市「竜山石の家形石棺」探訪記　/　当帰のにっ帰　/　狐の嫁入り行列～ひょっとこ踊り城陽会 10 周年～　/京田辺で戦争展８月１２日～１６日　/久御山町の古川と巨椋池排水機場/　会の活動・短信/　寄贈書籍の紹介　/　秋祭りの季節　城陽の秋まつりは水度神社から　/次回例会10月16日/　他